

6.2. 口頭発表

本節には、気象研究所の職員が筆頭者として行った講演、口頭発表などを個人別に掲載している。各発表の情報は、発表題目、会義名称の順に並べている。また、筆頭者以外の発表については、件数のみを掲載した。

- 青木重樹
- ・活発な余震活動を伴った内陸地震の複雑な断層配置 —平成 16 年(2004 年)新潟県中越地震と 1945 年三河地震の解析結果—, 北淡活断層シンポジウム 2006
 - ・平成 16 年新潟県中越地震の余震分布に見られる複数の地震面, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
 - ・一元化震源でみる余震活動度の高い過去の内陸地震の痕跡 1945 年三河地震(MJMA6.8)と 1943 年鳥取地震(MJMA7.2)—, 日本地震学会 2005 年秋季大会 (筆頭以外の発表件数 1 件)
- 青木輝夫
- ・ Snow grain size and concentration of snow impurities derived from ADEOS-II/GLI data, 1st CliC International Science Conference
 - ・ Validation results of ADEOS-II/GLI snow products, International Geoscience and Remote Sensing Symposium 2005 (IGARSS2005)
 - ・雪氷衛星計測の現状と課題-積雪-主に光学センサについて, 日本雪氷学会 2005 年度 気象水文分科会・衛星観測分科会合同講演会
 - ・ GLI 雪氷プロダクトと検証観測から得られたもの, AMSR・AMSR-E/GLI シンポジウム
 - ・雪氷面の波長別アルベド測定用プローブの試作, 日本雪氷学会 2005 年度全国大会
 - ・ ADEOS-II/GLI 雪氷プロダクト検証結果, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・全天分光日射計による積雪の分光アルベドと積雪粒径情報の関係, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・全天分光日射計による積雪粒径・不純物濃度の鉛直情報量, 第 28 回極域気水圏シンポジウム (筆頭以外の発表件数 10 件)
- 青梨和正
- ・ Development of data assimilation method to incorporate microwave radiometer data into a cloud-resolving model, the fourth WMO international symposium on assimilation of observations in Meteorology and Oceanography
 - ・衛星搭載マイクロ波放射計データの非静力雲解像モデルへの同化法の開発(その 2), 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・衛星搭載マイクロ波放射計データの非静力雲解像モデルへの同化法の開発(その 3), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・衛星搭載マイクロ波放射計 AMSRE 降水強度リトリーバルアルゴリズムの開発(その 3), 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・衛星搭載マイクロ波放射計 AMSRE 降水強度リトリーバルアルゴリズムの開発(その 4), 日本気象学会 2005 年度秋季大会 (筆頭以外の発表件数 4 件)
- 青山道夫
- ・ A core of Cs-137 in a layer 200-500m in the subtropical gyre in the western North Pacific Ocean, 日本放射線影響学会第 48 回大会
 - ・ Marine Biogeochemical Response to a Rapid Warming Ocean During These Three Decades in the EAST CHINA SEA, Dobis International Symposium - Dynamics of the Ocean Biosystem -
 - ・ Full Depth Cs-137 Distribution and Inventory in Subtropical Gyre in the South Pacific: Preliminary Results of SHOTS Project, The 2nd International Conference on

RADIOACTIVITY IN THE ENVIRONMENT

- ・ Southern Hemisphere Ocean Tracer Study (SHOTS) -First Project Results, The 2nd International Conference on RADIOACTIVITY IN THE ENVIRONMENT
- ・ Nutrients variability in the deep water in the Pacific Ocean:WOCE P06, P10 and P3 revisited", 2006 Ocean Sciences Meeting
- ・ Applications of ultra low-level counting on marine chemistry and study of general ocean circulation, 第 42 回アイソトープ・放射能研究発表会
- ・ 海洋における塩分、栄養塩および全炭酸の測定標準の現状と開発研究, 2006 年度日本海洋学会春季大会
- ・ 西部北太平洋 P10 再観測における溶存酸素量、栄養塩の観測, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
- ・ 北太平洋 P10 および P3 再観測で見だされた中深層での栄養塩変動, BE'06 (みらいシンポジウム)
- ・ 海水中栄養塩分析用標準溶液の現状と全炭酸-栄養塩一体型の無毒標準溶液の開発研究について, 日本分析化学会第 54 年会
- ・ 海洋環境における人工放射性核種の長期挙動の研究, 第 47 回環境放射能調査研究成果発表会
- ・ 地球表面に核実験起源の ^{137}Cs はどれだけ降ったか? 北半球総降下量の再評価最終報告, 第 7 回「環境放射能」研究会
- ・ 極微量 ^{137}Cs の分析と太平洋中深層における分布, 2006 年度日本海洋学会春季大会 (筆頭以外の発表件数 10 件)

- 足立アホロ
- ・ Evaluation of 3-beam and 4-beam profiler wind measurement techniques, 32nd Conference Radar Meteorology
 - ・ 台風 0221 号に伴う強風のウィンドプロファイラーによる観測, 日本気象学会 2005 年度秋季大会 (筆頭以外の発表件数 3 件)

- 五十嵐康人
- ・ MONITORING OF SO_2 CONCENTRATION AT THE SUMMIT OF MT.FUJI DURING WINTER TO SPRING, International Symposium on Atmospheric Environmental Impacts of Aerosols in East Asia
 - ・ 富士山における大気中の SO_2 とサルフェートの観測, 平成 17 年度 AIE シンポジウム
 - ・ 大気圏の粒子状放射性核種の長期的動態に関する研究, 第 47 回環境放射能調査研究成果発表会
 - ・ 富士山を観測タワーとしたエアロゾルの鉛直的観測研究計画-計画, 第 11 回大気化学討論会
 - ・ 風送ダストによる人工放射能の輸送, the Sixth Workshop on Environmental Radioactivity
 - ・ 降雨時の高 γ 線量率事象の季節変化と地域特性について(I), 第 16 回大気化学シンポジウム
 - ・ 富士山頂で観測された SO_2 , 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・ 富士山山頂における SO_2 濃度-2004 年冬季から春季に着目して, 第 11 回大気化学討論会 (筆頭以外の発表件数 16 件)

- 石井雅男
- ・ Trend of the total inorganic carbon increase in the subtropical western North Pacific since early 1990s., 7th International Carbon Dioxide Conference (ICDC7)
 - ・ Trend of the oceanic CO_2 in the western equatorial Pacific, 2006 Ocean Sciences Meeting
 - ・ 海洋表層 CO_2 観測の現状と意義, 2006 年度日本海洋学会春季大会
 - ・ 黒潮再循環域の海洋中層における全炭酸濃度の増加傾向, 2006 年度日本海洋学会春季大会 (筆頭以外の発表件数 7 件)

- 石川一郎
- Comparison between eddy-permitting and eddy-resolving North Pacific models on eddy fluxes of heat and salt, 2006 Ocean Sciences Meeting
 - 北太平洋モデルにおける水平分解能の渦輸送に及ぼす影響, 2005 年度日本海洋学会秋季大会 (筆頭以外の発表件数 3 件)
- 石崎士郎
- Global temperature and salinity reanalysis experiment using MRI Multivariate Ocean Variational Estimation (MOVE) System, The Fourth WMO International Symposium on Assimilation of Observations in Meteorology and Oceanography
 - Correction of zonal wind stress data based on oceanic observations in the equatorial Pacific in an ocean data assimilation system, Dynamic Planet 2005 (筆頭以外の発表件数 6 件)
- 石崎 廣
- 東経 165 度赤道近傍での深層測流(2)－北太平洋深層水の行方－, 2005 年度日本海洋学会秋季大会 (筆頭以外の発表件数 7 件)
- 石元裕史
- FDTD 法を用いた不規則形状微粒子の光散乱計算, 日本気象学会 2005 年度秋季大会 (筆頭以外の発表件数 1 件)
- 伊藤秀美
- 余震活動の予測と判断, 日本計量行動学会 第 33 回大会 (筆頭以外の発表件数 4 件)
- 井上豊志郎
- Radiosonde observation at Pt. Reyes and low-level cloud properties from satellite, ARM Meeting on Cloud Parameterization and Modeling Working Group
 - Retrieval of optical thickness and effective radius of low-level water cloud using the split window data of Meteosat-8, AMS 14th Conference on Satellite Meteorology and Oceanography
 - Pt. Reyes(カリフォルニア州)における下層雲の特徴とラジオゾンデデータの対応, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - Meteosat-8 による下層雲の雲量と光学的厚さの日変化の事例解析, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - 下層雲出現時のラジオゾンデによる気象要素の特徴, 日本気象学会 2005 年度春季大会 (筆頭以外の発表件数 2 件)
- 上野 充
- 台風コア域内の降水の非対称と鉛直シアの関わり－衛星データの利用－, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - 2004 年上陸台風域内の降水の非対称と台風移動、鉛直シアとの関わり, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- 碓氷典久
- Formation process of the Kuroshio Large Meander in 2004, 15 years of progress in Rader Altimetry Symposium
 - Reanalysis experiment using MRI Multivariate Ocean Variational Estimation (MOVE) System in the Western North Pacific, the Fourth WMO International Symposium on Assimilation of Observations in Meteorology and Oceanography
 - 気象研北西太平洋海況予測システムによる海面水温の再現性, 日本海洋学会 2006 年度春季大会
 - 黒潮流路予測実験に見られた誤差発展の特性, 2005 年度日本海洋学会秋季大会 (筆頭以外の発表件数 8 件)

- 内山明博
- Data status measured by JMA MRI at Gosan, ABC-EAREX05 Workshop
 - EAREX2005 で使用した日射計の検定, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)
- 内山貴雄
- 20km 格子全球モデルによる極端な気温現象の地球温暖化による変化, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 3 件)
- 永戸久喜
- Validation and improvement of snowfall forecast with cloud resolving model for microwave radiometer data assimilation, IPWG/ GPM/GRP Workshop on global microwave modeling and retrieval of snowfall
 - Potential and problems of cloud resolving model for improvement of microwave modeling and retrieval of snowfall, 5th Global Precipitation Measurement (GPM) International Planning Workshop
 - 衛星搭載マイクロ波放射計データ同化に向けた雲解像モデルの降水物質予測特性改善の検討, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - 冬季メソ対流系の構造とメカニズム解明における特別観測と雲解像数値実験の重要性, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 5 件)
- 大泉三津夫
- 気象庁非静力学モデルへの陸面モデルの実装と予備実験, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 大関 誠
- 気象庁非静力学モデルに対する特異ベクトルの計算(序報), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 岡田菊夫
- 対流圏中部におけるエアロゾル粒子の組成の緯度分布—PACE-3 航空機観測, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)
- 小畑 淳
- 気候と炭素循環の相互作用—気象研モデルによる評価, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 折笠成宏
- MRI 雲生成チャンバーを用いた雲物理実験 Part II: 気圧と温度制御の方法および特性, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - SnowWhite 水蒸気センサーと雲粒子ゾンデによる巻雲の同時観測 (序報), 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 9 件)
- 勝間田明男
- 深部低周波微動の活動間隔とスロースリップイベントの予知, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
 - 深部低周波微動の活動間隔とスロースリップイベントの予知(2), 日本地震学会 2005 年秋季大会
 - スロースリップイベントに先行した深部低周波微動活動間隔の変化とスロースリップ検知のためのレーザー干渉計の開発, 研究集会「地殻活動データに基づく予測シミュレーションモデル構築に向けて」
- 勝間田明男
- 波長スイープ式マイケルソン干渉計による絶対長測定に関する検討, 日本地震学会 2005 年秋季大会
(筆頭以外の発表件数 3 件)
- 加藤輝之
- Prediction of heavy rainfall by a cloud-resolving nonhydrostatic model: Roles of low-level humid air and middle-level dry air, The First International Symposium by the China, Korea and Japan Meteorological Societies

- Cloud top heights of cumulonimbi in the rainy season in the East Asia, estimated from a cloud resolving model and objective analysis data, 5th Global Precipitation Measurement (GPM) International Planning Workshop
- Problems in predicting heavy rainfall using a cloud-resolving model impact of assimilating Aqua/AMSR-E data to 2004 Fukui heavy rainfall case, 2nd AOGS annual meeting 2005
- 日本海を北上中の台風 0418 の勢力維持機構に関する非静力学モデルを用いた絶対渦度収支解析, 第 7 回非静力学モデルに関するワークショップ
- 集中豪雨の環境場とメソスケール, 第 3 回天気予報研究会
- 日本海を北上中の T0418 の勢力維持機構に関する非静力学モデルを用いた絶対渦度収支解析, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- 梅雨前線帯での豪雨の発生・維持機構—梅雨ジェットの定義からメソ対流系内での積乱雲の動き—, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- 温位エマグラムを用いた相当温位・CAPE の算出方法, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 梅雨期における積乱雲の潜在的発達高度に関する統計的研究, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 8 件)

蒲地政文

- An overview of application of ocean data assimilation, The Fourth WMO International Symposium on Assimilation of Observations in Meteorology and Oceanography
- Observing systems from a viewpoint of modeling and data assimilation in the Pacific, International Ship-Based Hydrography Workshop
- Inter-comparison of Ocean Data Assimilation Systems in the Pacific: Preliminary Results of GODAE IC Pilot Project, the Colloquium in honour and in memory of Christian Le Provost
- Prediction of Kuroshio Meander with JMA Operational Ocean Assimilation-rediction System (COMPASS-K), The Fourth WMO International Symposium on Assimilation of Observations in Meteorology and Oceanography
- GODAE と ARGO、シンポジウム「ARGO の現状と未来」、日本海洋学会 2005 年度春季大会講演要旨集
- GODAE に関する国外の動向、シンポジウム「海洋観測とモデルの統合化:現状と今後の戦略的推進」、日本海洋学会 2005 年度春季大会講演要旨集
(筆頭以外の発表件数 23 件)

釜堀弘隆

- 再解析に表現される台風のコンポジット解析, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- 再解析に表現される台風のコンポジット解析(その 2), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)

上口賢治

- Futuer Projection of Precipitation Extremes with 20-km-mesh Atmospheric General Circulation Model, 86th AMS Annual Meeting
- 20 世紀の降水エクストリームインデックスの経年変化について, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 超高解像度全球モデルを用いた、温暖化時の極端な降水現象に関する予測, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)

川畑拓矢

- Assimilation experiment for Nerima heavy rainfall using a cloud resolving non-hydrostatic 4DVAR assimilation system, Sixth International SRNWP-Workshop on Non-Hydrostatic Modelling

- ・雲解像度 NHM-4DVAR を用いたデータ同化実験, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・雲解像度 NHM-4DVAR を用いた練馬豪雨事例に関するデータ同化実験, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・雲解像度 NHM-4DVAR を用いた練馬豪雨事例に関するデータ同化実験, 第 7 回非静力学モデルに関するワークショップ
 - ・雲解像度非静力学 4 次元変分法データ同化システムを用いた練馬豪雨事例に関するデータ同化実験, 第 3 回天気予報研究会
(筆頭以外の発表件数 3 件)
- 北川貞之
- ・樽前山における 1999~2000 年の火山活動 -GPS, 地磁気, 温度観測データに見られた同期した変動, 日本火山学会 2005 年秋季大会
- 北畠尚子
- ・ Structure and intensity of Typhoon Songda (2004) undergoing extratropical transition, WMO International Workshop on tropical cyclone landfall processes
 - ・ Extratropical Transition of the Tropical Cyclones that Made Landfall on Japan in 2004: Overview and Case Studies, WMO/TMRP International Workshop on Tropical/ Extratropical Interactions incorporating the third International Workshop on Extratropical Transition
 - ・台風 0418 の構造と強度の変化、及びそれに対する環境場の影響, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・台風の中緯度における構造変化 -関東地方通過通の台風 0221 号の風-, 京都大学防災研究所研究集会 16K-6 「台風災害低減へ向けた挑戦 -我々は何をなすべきか-」
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 鬼頭昭雄
- ・ East Asian monsoons in the future projected by IPCC AR4 models, 8th AMIP/East Asian Climate Workshop
 - ・ 20-km mesh AGCM and 5-km mesh RCM simulations, 8th AMIP/East Asian Climate Workshop
 - ・ How good are CGCMs in the Pacific, 3rd CLIVER Pacific Panel Meeting
 - ・ Global warming experiments at MRI, Climate Workshop in Taiwan
 - ・ Monsoon-ENSO modulation by mountain uplift, 3rd KAGI21 International Symposium
 - ・ Climate and its variability, JICA Training Course 'Meteorology'
 - ・ Paleoclimate modeling at MRI, German-Japan Workshop for Numerical Climate Modeling
 - ・ Past, present and future Pacific climate associated with ENSO modulation, International Symposium on Sustainability of the Islands and Resource- Recycling Society
 - ・ Past and future climate simulations by climate models, RIHN Pre-Symposium, The Second Stage
 - ・ Mountain uplift and ENSO-monsoon system, IAMAS 2005
 - ・ 20th century simulations by CGCM and AGCM at MRI, Workshop on Global Change in 20th Century and Seasonal and Interannual Climate Prediction
 - ・ Change in precipitation diurnal cycle by global warming simulated by a 20-km mesh climate model, IAMAS 2005
 - ・ Baiu-Changma-Meiyu and its future change, IAMAS 2005
 - ・ Changes in onset and withdrawal of the East Asian summer rainy season by multi-model global warming experiments, 5th International Symposium on Asian Monsoon System
 - ・ Asian-Australian monsoons simulated by the global 20-km mesh MRI/JMA AGCM: Rainfall diurnal variations and its future change, 5th International Scientific Conference on the Global Energy and Water Cycle

- ・過去・現在・将来の気候シミュレーション, 環オホーツク圏における気候学と古気候学の接点
- ・気候モデルによる過去・現在・将来のモンスーンシミュレーション, 極域・寒冷域研究連絡会
- ・温暖化で大雨は増えるか, かながわ研究交流推進協議会の気象研究所施設見学
(筆頭以外の発表件数 19 件)

楠 昌司

- ・ Cloud amount simulated by the coupled model MRI-CGCM2.3, 86th AMS Annual Meeting
- ・ Change of the East Asian summer rainy season (Baiu) due to global warming projected by a 20km-mesh AGCM, International Association of Meteorology and Atmospheric Sciences (IAMAS) 2005
- ・ Change of extreme events due to global warming projected by a 20km-mesh AGCM, International Association of Meteorology and Atmospheric Sciences (IAMAS) 2005
- ・ Global warming projection by an atmospheric general circulation model with 20-km grid size, "The First International by the China, Korea and Japan Meteorological Societies - Atmospheric Sciences in East Asia"
- ・ Projection of Future Climate Changes in the Asia-Pacific region, APN Scientific Symposium 'Contribution of APN - Evaluation of Vulnerability and Adaptation Measures in the Asia-Pacific region - Focusing on Coastal Zones'
- ・日本における暑夏の地上気温の再現期間, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- ・20km 格子間隔の気象大循環モデルを用いた地球温暖化実験による梅雨の変化, 2005 年度月例会「長期予報と気象大循環」—地球温暖化と東アジアの気象—
- ・20km 格子全球気象モデルによるオホーツク海高気圧の再現性, 大槌シンポジウム「冷夏猛暑に代表される夏季異常気象研究の統合」オホーツク海高気圧とヤマセー
- ・温暖化によって沖縄の気候はどのようにかわるのか～台風、降雨の変化を中心に～, 平成 17 年度 気候講演会
- ・全球気象モデルによる梅雨再現性の水平分解能依存性, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- ・20km 全球気象モデルによる地球温暖化実験結果の概要, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 3 件)

楠 研一

- ・ A climatological study of low-level internal gravity waves in precipitating environments over the Kanto Plain, Japan, 12th Conf. Aviation Range and Aerospace Meteorology
- ・ The use of clear-air echoes for operational Doppler radar systems, 32nd Conference Radar Meteorology
- ・ Preliminary observations of small scale wakes generated by complex terrain using a portable x-band radar, 32nd Conference Radar Meteorology
- ・2004 年台風 18 号におけるひも状スパイラルバンドと多角形アイウォール構造, 第 10 回日米気象技術交流会
- ・台風 0418 号のインナーコアの構造と時間変化, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- ・台風 0418 号のインナーコアの構造と時間変化, 台風被害の軽減に関する総合討論会—2004 年の台風による強風・暴雨による被害の実態解明
- ・ミリ波レーダーで観測した山岳性降雪雲の平均像, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- ・ポータブル X-band レーダーを用いた小スケールウェークの初期観測, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 6 件)

國井勝

- ・4次元変分法による台風初期値化法の改善(序報), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 3 件)

- 栗田 進 ・局在する都市キャノピーの風洞実験, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 黒田友二 ・南半球環状モードへのオゾンのインパクトー大気=化学結合モデルの解析ー, 日本気象学会
2005 年度春季大会
・太陽活動に伴う南半球環状モードの変調ー鉛直方向への伸張の違いー, 日本気象学会 2005
年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 高野洋雄 ・台風域内の波浪による粗度変化について, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
・T0423 による室戸岬沖の高潮・高波について, 日本海洋学会 2005 年度春季大会
- 小寺邦彦 ・太陽活動の影響はどこに見られるのか?, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・成層圏過程を通じた太陽活動の影響: 数百年周期変動, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)
- 小林昭夫 ・2004 年紀伊半島南東沖地震 (M7.1 及び M7.4) 後に観測された地殻変動, 地球惑星科学関
連学会 2005 年合同大会
・東海地域で歪計により観測された短期的スロースリップ, 日本測地学会第 104 回講演会
(筆頭以外の発表件数 2 件)
- 古林絵里子 ・最尤法に基づいた inversion によるスカイラジオメーターの解析プログラム, 日本気象学会
2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)
- 小林隆久 ・Systematic variations of raindrop size spectra with altitude derived from wind profiler:
Measurements for TRMM PR evaluation, 32nd Conference Radar Meteorology
・衛星搭載ライダーによる雲・エアロゾルの観測, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 3 件)
- 斎藤篤思 ・MRI 雲生成チャンバーを用いた雲物理実験 Part III: 雲粒生成過程について, 日本気象学会
2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 斉藤和雄 ・The JMA short range NWP system and plans for mesoscale ensemble prediction, The
First WWRP B08FDP/RDP Workshop
・Limited Area Weather Prediction Modelling and Operational Use of NWP Products,
Meeting on the WMO/CAS Tropical Meteorology Research Programme
・Short Range NWP Strategy of JMA and Research Activities at MRI, IAMAS2005
・豪雨の力学的予測とメソアンサンブルについて, 台風に伴う強風と豪雨の超高解像度数値モ
デリング研究会
・平成 16 年新潟・福井豪雨のメソアンサンブル予報実験(序報), 日本気象学会 2005 年度春季
大会
・メソモデルによる全球アンサンブル予報ダウンスケール実験, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
・メソモデルによる台風事例のアンサンブルダウンスケーリング, 東京大学海洋研究所附属国
際沿岸海洋研究センター利用研究集会「台風のライフサイクル」
・全球アンサンブル予報メソモデルダウンスケール実験, 第 7 回非静力学モデルに関するワー
クショップ
(筆頭以外の発表件数 9 件)

- 財前祐二 ・ 春季 Barrow で採集された大気エアロゾル粒子の混合状態, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 笹岡雅宏 ・ 境界層レーダーを用いた水蒸気プロファイル推定の誤差評価のシミュレーション, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ モーメント推定手法の改善: 境界層レーダー観測の誤差評価のシミュレーション, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ 関東地方における雷雨日の水蒸気挙動: 気象研究所 BLR・MR、気象庁 BLR を用いた研究, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 佐々木秀孝 ・ 水平解像度 20km 全球モデルと気象研究所地域気候モデルによる現在気候再現性の比較, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 澤井哲滋 ・ 関東地方の夏の高温イベント - その 2 - 数値モデルを用いた再現実験に向けて - , 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 澤 庸介 ・ Variations and transport of carbon monoxide over the Western Pacific, The First International Symposium by the China, Korea and Japan Meteorological Societies
・ Episodic enhancements of CO₂ and CO at the summit of Mt. Fuji (3776m), Japan, 7th International Carbon Dioxide Conference
・ 富士山山頂で冬季に観測された顕著な CO 濃度上昇, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 10 件)
- 柴田清孝 ・ Phase relationship between chemical species and dynamical quantities in the QBO simulated with MRI coupled chemistry-climate model, AGU 2006 Fall Meeting.
・ Effect of the vertical resolution in the upper troposphere and lower stratosphere on ozone abundance across the tropopause, the Third International Symposium on AIR QUALITY MANAGEMENT
・ Phase relationship between chemical species and dynamical quantities in the simulated QBO, CCMVal Workshop 2005
・ Connection between the solar sunspot cycle and the middle atmosphere, CAWSES workshop 2005(第 6 回宇宙天気/気候シンポジウム)
・ 太陽黒点 11 年周期の放射強制力, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
・ 熱帯成層圏準 2 年振動(QBO)のシミュレーション: その 3 QBO の中高緯度への影響 (於 Interactive オズンラン), 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 小司禎教 ・ GPS による大気計測と天気予報への利用, 湿度, 水分計測・センサ研究会 20 周年記念ワークショップ
・ GPS 準リアルタイム解析実験, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
・ GPS ダウンルッキング掩蔽法: 一次勾配を考慮した屈折率プロファイルの補正, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ 2004 年 6 月 30 日, 静岡で発生した豪雨の GPS データ同化・予測実験, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)

- 杉 正人 ・マルチモデルアンサンブル法による潜在的予測可能性の推定(2), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 鈴木 修 ・2005 年 5 月 15 日に東京都西部～神奈川県北部に突風と降雹をもたらしたスーパーセルストームの解析, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 5 件)
- 清野直子 ・タリム盆地におけるダストストームの発生環境(3), 日本気象学会 2005 年度春季大会
・JMANHM を用いたタリム盆地のダスト発生環境シミュレーション, 第 7 回非静力学モデルに関するワークショップ
- 瀬古 弘 ・大阪湾周辺から伸びる線状降水帯の発達とその環境(その 1), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
・大阪湾付近から発生する線状降水帯の発達・衰弱とその環境, 第 3 回天気予報研究会
・大阪湾周辺から伸びる線状降水帯の発達とその環境, 第 7 回非静力学モデルに関するワークショップ
・豪雨や短時間強雨をもたらした降水系の同化実験(その 2), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
・ドップラーレーダ動径風や GPS 水蒸気量を用いた豪雨や短時間強雨をもたらした降水系の同化実験(その 1), 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 関山 剛 ・成層圏オゾンの 11 年周期太陽シグナル: 応答遅延のコンポジット解析, 第 11 回大気化学討論会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 高木朗充 ・光波測距観測の数値予報気象モデルに基づく補正手法 - 浅間山への適用 -, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
・地殻変動から推定される 2004 年浅間山噴火前後の浅部マグマ供給系, 日本火山学会 2005 年秋季大会
(筆頭以外の発表件数 6 件)
- 高橋清利 ・インド付近における日変化と季節内変動, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・JRA-25 データで見るモンスーン季節進行と大気加熱, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・再解析データ(JRA-25, ERA40, NCEP1/2)における降水頻度特性, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 高橋 宙 ・鉱物ダストの放射強制力～年々変動とその要因～, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 5 件)
- 高藪 出 ・地域気候モデルによるチベット高原の積雪過程のシミュレーション実験, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・チベット氷河の涵養メカニズムに関するモデル研究, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)
- 高山博之 ・想定震源域内で地震が発生した場合の東海地震への影響, 研究集会「地殻活動データに基づく予測シミュレーションモデル構築に向けて」
・硫黄島における地震観測, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
・地殻内地震のリアルタイム分離と活動の自動監視, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)

- 武田重夫 ・ Hill の球形渦類似の流れパターンによるシンプルな対流モデルの検討(その 3 ; 水蒸気の相変化による効果の検討), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 田尻拓也 ・ MRI 雲生成チャンバーを用いた雲物理実験 Part IV: 氷晶発生過程について, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 田中 実 ・ 20 世紀におけるアジアモンスーンの長期変動と夏の気温・海面水温の関係, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ 20 世紀におけるアジアモンスーンの長期変動と東アジアの夏の気温の関係, 2005 年度月例会「長期予報と大気大循環」
- 田中泰宙 ・ 北アフリカ・中東から日本への鉱物ダストの輸送の可能性, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ 全球大気輸送モデルを用いた 85Kr の数値シミュレーション～全球大気輸送モデルの検証と将来予測実験～, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 5 件)
- 田宮久一郎 ・ 変分法データ同化におけるペナルティ項の形と収束の速さ(続), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 6 件)
- 千葉 長 ・ 風送ダストによる放射強制力, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ 2005 年 6 月 25 日と 28 日の関東平野における真夏日の違い(数値モデルを用いた再現実験), 日本気象学会 2005 年度秋季大会
・ 降雨時の高 γ 線量率事象の季節変化と地域特性について(II), 第 16 回大気化学シンポジウム
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 忠鉢 繁 ・ 北半球オゾン「ミニ」ホールの統計的考察, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ 南極極夜域のオゾン濃度の高度分布(オゾンホールの開始時期), 第 16 回大気化学シンポジウム
・ 北半球中—高緯度に出現する小さなオゾン全量の統計的調査, 第 28 回極域気水圏シンポジウム
- 辻野博之 ・ The Kuroshio Path Transition: Prediction and Underlying Mechanism, 2006 Ocean Sciences Meeting
・ 対馬海流の形成および変動要因について, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭以外の発表件数 10 件)
- 出牛 真 ・ 気象研究所化学輸送モデルで再現された極渦内オゾン場の精度向上について, 日本気象学会 2005 年度春季大会
・ 全球化学輸送モデルにおける中緯度成層圏 - 対流圏物質交換の再現精度の検証, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
・ モデルで再現される成層圏—対流圏物質交換の鉛直解像度依存性, 第 16 回大気化学シンポジウム
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 時枝隆之 ・ Seasonal variation of Chlorofluorocarbons saturation in the western North Pacific, The 37th International Liege Colloquium on Ocean Dynamics, Gas transfer at water surfaces

- ・北太平洋中央モード水形成が大気気体成分取り込みに果たす役割, 2005 年度日本海洋学会 秋季大会
- ・つくばにおける大気中 85Kr, 第 16 回大気化学シンポジウム
(筆頭以外の発表件数 1 件)

直江寛明

- ・大気煤粒子の混合状態と光吸収特性について, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- ・気象研究所対流圏エアロゾルモデルの開発—大気硫黄サイクル—, 日本気象学会 2005 年度 秋季大会

仲江川敏之

- ・PNA 領域における NCEP 季節予報実験結果のクラスター解析, 日本気象学会 2005 年度春 季大会
- ・アンサンブル長期積分実験による潜在的季節予報精度の長期変動, 日本気象学会 2005 年度 春季大会
- ・長期 AGCM アンサンブル実験に基づく熱帯アジア河川流量の潜在的季節予測可能性, 日本 気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)

中里真久

- ・対流圏オゾンライダーを用いた都市大気汚染計測の可能性, 第 31 回リモートセンシングシ ンポジウム
- ・DIAL で観測された対流圏オゾン変動の解析, 第 24 回レーザセンシングシンポジウム
- ・大気安定度指数を用いた 2003 年から 2005 年のシビア現象発生時の環境場の解析, 日本気 象学会 2005 年度秋季大会
- ・対流圏オゾンライダーを用いた冬季における対流圏オゾンの鉛直分布の特徴, 第 11 回大気 ライダー観測研究会
- ・対流圏オゾンライダーで観測された成層圏オゾンの対流圏への侵入, 日本気象学会 2005 年 度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 2 件)

中澤哲夫

- ・New paradigm for weather forecast system in Asia, WMO-JMA Public Forum Workshop at World Conference on Disaster Reduction
- ・Asian THORPEX activities, The 5th International Symposium on Asia Monsoon System
- ・TRMM status in Japan, The 3rd GPM International Workshop.
- ・Interactive Weather Prediction System, International Workshop on Flash Flood Disaster Mitigation in Asia.
- ・Madden-Julian Oscillation activity and its role on typhoon landing to Japan in 2004, WMO International Workshop on Tropical Cyclone Landfall Processes
- ・Estimating tropical cyclone intensity over the north western Pacific by TMI and AMSR-E data, The 9th IAMAS Assembly
- ・台風の発生・日本上陸の機構, 東京大学海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター利用研究 集会「台風のライフサイクル」
- ・2004 年台風の発生・日本最多上陸に果たした季節内変動の役割, 日本気象学会 2005 年度春 季大会
- ・日本に接近・上陸台風の多かった年と少なかった年での循環場の違いについて, 日本気象学 会 2005 年度秋季大会
- ・週間アンサンブルに見る台風発生, 京都大学防災研究所研究集会 16K-6「台風災害低減へ向 けた挑戦 —我々は何をなすべきか—」
(筆頭以外の発表件数 4 件)

- 中野俊也
- ・ Variabilities of Upper-Ocean Heat Content in the North Pacific Subrtropical Region, 2006 Ocean Sciences Meeting
 - ・ MOVE/MRI.COM-G による北太平洋亜熱帯循環域表層塩分場の変動の再現性, 2006 年度日本海洋学会春季大会
 - ・ 長崎海洋気象台 PN 線での物理化学生物観測結果にみる長期変動, 2006 年度日本海洋学会春季大会 シンポジウム「海洋における長期変動の研究とその研究に必要な計測標準および分析用標準の開発管理」
 - ・ 北太平洋亜熱帯循環域における表層貯熱量の変動, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
 - ・ 北太平洋亜熱帯循環域における表層貯熱量の変動について, シンポジウム「北太平洋における表層水塊過程」
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 中野英之
- ・ Zonal jets in fine-resolution OGCMs, AGU Chapman Conference on Jets and Annular Structures in Geophysical Fluids
 - ・ A new point of view on the Kuroshio Current System, 2006 Ocean Sciences Meeting
(筆頭以外の発表件数 3 件)
- 萩野谷成徳
- ・ 日本におけるポテンシャル蒸発量の長期変動, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
- 長谷川洋平
- ・ 2005 年 8 月 16 日の宮城県沖の地震に伴った津波の観測波形と種々の断層モデルによる数値計算波形, 日本地震学会 2005 年秋季大会
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 林 修吾
- ・ 発雷の数値シミュレーションにより得られた日本海冬季雷の発現の有無をもたらず雲物理量の違い, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・ 雲解像モデル(JMANHM)を用いた発雷予測, 第 25 回メソ気象研究会
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 林 豊
- ・ Change in the sea surface height observed by satellite altimetry from Jason-1 and TOPEX/Poseidon before and after the Sumatra earthquake, The Asia Oceania Geosciences Society 2nd Annual Meeting (AOGS2005)
 - ・ The largest tsunami run-up caused by the Tokachi-oki earthquake (September 26, 2003) was observed distant from the source region ", The Asia Oceania Geosciences Society 2nd Annual Meeting (AOGS2005)
 - ・ 衛星海面高度計による地震・津波観測の現状と将来, 電子情報通信学会ソサイエティ大会
 - ・ 衛星海面高度計により観測された 2004 年スマトラ沖地震津波, 宇宙応用シンポジウム—災害監視衛星特集—
 - ・ 海面高度計により観測されたスマトラ沖地震前後の海面高度の変化, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 平原幹俊
- ・ Effects of the western wind stress over the Southern Ocean on the abyssal circulation, Dynamic Planet 2005
 - ・ 全球海洋モデルにみられる南半球高緯度の熱塩振動, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
- 廣瀬勝己
- ・ Metal-Organic Matter Interaction : Ligands as a Functional Group in Oceanic DOM, Goldschmidt 2005 (50th Anniversary of the Geochemical Society)
 - ・ Recent Plutonium Deposition Observed in Tsukuba, Japan, 日本放射線影響学会第 48 回大会

- Recent Trends of Plutonium Deposition Observed in Japan: Comparison with Natural Lithogenic Radionuclides, Thorium Isotopes, 2005 年 放射化学に関するアジア太平洋シンポジウム
 - 海洋の ^{230}Th の鉛直分布から炭酸移出フラックスの評価について, 2006 年度日本海洋学会春季大会
 - 太平洋における ^{137}Cs とプルトニウムの分布について: BEAGLE2003 の結果について, 2005 年日本放射化学会年会・第 49 回放射化学討論会
(筆頭以外の発表件数 8 件)
- 深堀正志
- Line strengths and half-widths of the N_2O bands in the 2.0- to 2.3 μm region at room temperature, the 7th International Radiation Symposium
 - Measurement of the Line Strengths and Half-widths of the ν_2 Band of CO_2 , International Symposium New Horizon of Astrochemistry and Laboratory Spectroscopy
 - Line strengths and half-widths of the ν_2 band of $^{12}\text{C}^{16}\text{O}_2$, International Symposium on New Horizon of Astrochemistry and Laboratory Spectroscopy
 - Measurement of the absorption line parameters of the 1.6- μm bands of CO_2 at room temperature, 平成 17 年度 社団法人日本分光学会春季講演会・シンポジウム
 - Line Strengths and Half-widths of the CO_2 Bands in the 2 μm Region at Atmospheric Temperatures, 7th Colloquium ASA (Atmospheric Spectroscopy Applications)
 - Measurements of the Absorption Line Parameters of the N_2O and CO_2 Bands in the CH.1 Region of ILASII, The 9th ILAS-II Science Team Meeting
 - 室温下における CO_2 15mm 帯の吸収線パラメータの測定, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - 二酸化炭素の 4.3 μm 帯における吸収線形の測定, 第 16 回大気化学シンポジウム
 - CO_2 純ガス実験における ν_3 帯の吸収線形, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - 二酸化炭素の 4.3 μm 帯における吸収線形の測定, 第 16 回大気化学シンポジウム
(筆頭以外の発表件数 5 件)
- 福井敬一
- 火山用地殻活動解析支援ソフトウェアの開発(2), 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
(筆頭以外の発表件数 6 件)
- 藤井陽介
- The Kuroshio meandering south of Japan: prediction and interpretation in JMA/MRI, European Geosciences Union (EGU) general assembly 2005
 - Variation of the South Pacific Tropical Water in an ocean data assimilation system (MRI-MOVE) and its relation to ENSO, "Second Argo Science Workshop" in "15 years of progress in Rader Altimetry Symposium"
 - A new strategy with a time-spreading correction technique in the 4DVAR version of MRI Multivariate Ocean Variational Estimation System (MOVE-4DAR), 4th WMO International Symposium on assimilation of observation in meteorology and Oceanography
 - 気象研究所海洋アジョイントモデルによる同化実験, 日本海洋学会 2006 年度春季大会講演要旨集
 - 気象研究所のアジョイントモデルによる同化実験, 2006 年度日本海洋学会春季大会
 - 南太平洋回帰線水(SPTW)と太平洋赤道域の表層水温, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭以外の発表件数 15 件)
- 藤枝 鋼
- 低温下における CH_4 の ν_3 帯吸収線強度と半値半幅の測定, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - 低温下における CH_4 ν_3 帯吸収線帯吸収線パラメータ, 第 16 回大気化学シンポジウム
(筆頭以外の発表件数 9 件)

- 藤部文昭
- Features of the wind fields associated with Typhoon 0418 (Songda) compared with those of Typhoon 9119 (Mireille), The 37th Joint Meeting of US-Japan Panel on Wind and Seismic Effects, US-Japan Cooperative Program in Natural Resources (UJNR)
 - 日本における猛暑と大雨の実態と長期変動, 第3回環境研究機関連絡会成果発表会梗概集
 - 日本における大雨と少雨の増加傾向: 1901~2004年, 日本気象学会 2005年度秋季大会
 - 日本における降水の日変化形の経年変化(1898~2003年), 日本気象学会 2005年度春季大会
 - 日本における1日~31日間降水量・降水頻度の階級別経年変化(1901~2004年), 日本地理学会 2005年度秋季学術大会
 - 日本に上陸する台風の地上風速分布の統計的分類, 日本気象学会 2005年度秋季大会
 - 台風0418の強風分布の特徴-台風9119との比較-, 日本気象学会 2005年度春季大会 (筆頭以外の発表件数1件)
- 藤原健治
- The preliminary GPS observation around Mayon volcano. Philippines, 地球惑星科学関連学会 2005年合同大会
 - 富士山山頂部及びその周辺での地震観測, 日本火山学会 2004年秋季大会 (筆頭以外の発表件数5件)
- 別所康太郎
- Baiu Hunter 2005における無人機による気象観測, 日本気象学会 2005年度秋季大会 (筆頭以外の発表件数4件)
- 保坂征宏
- The simulated cryosphere by JMA/MRI atmospheric, landsurface, and river flow model, 1st CliC International Science Conference
 - Changes in snow cover and snow water equivalent due to global warming simulated by a 20km-mesh global atmospheric model, 86th AMS Annual Meeting
 - GCMによる極域水循環, 極域・寒冷域研究連絡会 (筆頭以外の発表件数3件)
- 星野俊介
- TRMM/TMI 輝度温度データを用いた台風の強度推定法, 日本気象学会 2005年度秋季大会
 - マイクロ波センサーのデータを用いた台風の強度推定法に関する研究(第4報), 日本気象学会 2005年度春季大会 (筆頭以外の発表件数6件)
- 前田憲二
- Estimation of the Fault Constitutive Parameter $A\sigma$ and Stress Accumulation Rate from Seismicity Response to a Large Earthquake, The 4th International Workshop on Statistical Seismology
 - 地震活動度の応カステップ応答に基づく摩擦パラメータ等の推定, 地殻活動データに基づく予測シミュレーションモデル構築に向けて
 - 地震活動度の応カステップ応答に基づく応力蓄積率の推定, 日本地震学会 2005年秋季大会
 - 応カステップと地震活動度変化に基づく摩擦構成則パラメータ $A\sigma$ の推定 -2003年十勝沖地震により誘発された内陸地震の例-, 地球惑星科学関連学会 2005年合同大会 (筆頭以外の発表件数3件)
- 松枝秀和
- Interannual variations of carbon dioxide in the upper troposphere observed over the western Pacific from 1993 to 2005, 7th International Carbon Dioxide Conference
 - 定期旅客機による上部対流圏の温室効果気体観測, 炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ
 - 富士山山頂で2003年春季に観測されたシベリア森林火災による顕著なCO濃度上昇, 日本気象学会 2005年度春季大会 (筆頭以外の発表件数17件)

- 松本 聡
- ・ 気象研究所海洋データ同化システムによる長期値解析実験と長期変動の解析 1, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 益子 渉
- ・ 超高解像度非静力学モデルによって再現された T0418 号、T0422 号のコア構造, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・ 台風 0422 号による関東平野での下層寒気場内の強風のメカニズム, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・ 関東南部に強風被害をもたらした台風 0422 号のコア域の微細構造 高解像度非静力学モデルとドップラーデータを用いた解析一, 京都大学防災研究所一般共同研究集会 17K-1 台風被害の軽減に関する総合討論会 2004 年の台風による強風・暴雨による被害の実態解明
 - ・ 関東南部に被害をもたらした台風 0422 号による強風のメカニズム 一高解像度非静力学モデルとドップラーレーダーを用いた解析一, 第 52 回風に関するシンポジウム
(筆頭以外の発表件数 5 件)
- 真野裕三
- ・ MODIS の $1.38 \mu\text{m}$ チャネルによる薄い巻雲の検出, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 馬淵和雄
- ・ On-line simulation study of the carbon cycle between land surface and the atmosphere using 3-D. global climate model, 7th International Carbon Dioxide Conference (ICDC7)
 - ・ 陸面植生モデル BAIM2 を導入した炭素循環気候モデル 一S-1 プロジェクト最終年度に向けて一, S-1 プロジェクト平成 17 年度第 2 回アドバイザー会合
 - ・ 植生モデル BAIM2 を導入した気候モデルによる炭素循環実験, 京都大学 理学部セミナー
 - ・ 全球気候モデルを用いた植生と気候の相互作用に関する数値実験, 第 5 回名古屋大学地球水循環研究センター公開講演会「植生が気候を変える？」
 - ・ 3 次元気候モデルによる炭素循環システムの理解と陸域バイオマス評価, B60 平成 17 年度第 1 回アドバイザーボード会合
 - ・ 炭素循環システムの理解とそれによる将来予測に向けて, 3 次元モデルにできることは?, S1 研究テーマ 1 総合的解析会議
 - ・ 陸面モデル BAIM2 を組み込んだ 3 次元気候モデルによるアジアモンスーン域 大気-陸面相互作用・水循環システムの解明, ポスト GAME 計画立案のための国内ワークショップ
 - ・ 陸面植生モデル BAIM Ver. 2 (BAIM2) とそれを導入した 3 次元地域気候モデルによる数値実験, S1 課題 総合化に向けた第 1 回目会合
 - ・ 炭素循環システムの理解に向けた植生-天気 on-line 結合 3 次元気候モデルの開発, 炭素循環および温室効果ガス観測ワークショップ
 - ・ 陸面植生モデル BAIM2 を組み込んだ全球気候モデルによる炭素循環数値実験, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・ 陸面植生モデル BAIM Ver. 2 (BAIM2) とそれを組み込んだ気候モデルによる数値実験(II), 日本気象学会 2005 年度春季大会
- 三上正男
- ・ Asian Dust Impact on the Climate-Summary of Japan-Sino Project ADEC-, IAMAS 2005
 - ・ An Introduction to Japanese Australian Dust Experiment - JADE, the 2005 fall meeting of American Geophysical Union
 - ・ Number concentration of desert aerosols in the south of the Taklimakan Desert, China, the 2nd AOGS annual meeting 2005
(筆頭以外の発表件数 2 件)

- 緑川 貴
- Interannual variations of winter oceanic pCO₂ and CO₂ flux in the western North Pacific, 7th International Carbon Dioxide Conference (ICDC7)
 - 太平洋西部赤道域における CO₂ 分圧の年々変動, 2006 年度日本海洋学会春季大会 (筆頭以外の発表件数 3 件)
- 村上正隆
- Weather modification and other related activities at MRI, JMA, 2nd International Mini-Workshop on Weather Modification
 - 基調講演: 温帯低気圧の雲と降水, 日本気象学会 2004 年度秋季大会 シンポジウム「極東域の温帯低気圧」
 - 冬季日本海上に出現した様々な雲システムの航空機観測, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - MRI 雲生成チャンバーを用いた雲物理実験 Part I: 雲生成チャンバーの概要, 日本気象学会 2005 年度秋季大会 (筆頭以外の発表件数 12 件)
- 村崎万代
- 大気海洋結合地域モデルを用いた温暖化予測実験, 日本気象学会 2005 年度春季大会 (筆頭以外の発表件数 2 件)
- 村田昭彦
- 2004 年台風 21 号による紀伊半島での豪雨, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - 台風 0421 による紀伊半島での豪雨とその環境場, 台風被害の軽減に関する総合討論会 – 2004 年の台風による強風・暴雨による被害の実態解明 –
 - 2004 年台風 16 号の急発達, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- 室井ちあし
- High resolution regional climate modeling using non-hydrostatic cloud-resolving model, The 8th International Workshop on Next Generation Climate Models for Advanced High Performance Computing Facilities, The 3rd International Workshop on the Kyosei Project
 - 立方体型全球非静力学モデルの開発, 第 7 回非静力学モデルに関するワークショップ (筆頭以外の発表件数 5 件)
- 毛利英明
- 高レイノルズ数乱流内の渦管構造に関する実験的研究, 混合、化学反応、燃焼の流体力学
 - エネルギー散逸率の大スケール変動, 日本流体力学会 年会 2005
 - エネルギー散逸率の大スケール変動, 乱流研究の異分野融合と新たな創成 (筆頭以外の発表件数 1 件)
- 本井達夫
- The role of Panamanian Gateway in a coupled ocean-atmosphere GCM, Dynamic Planet 2005
 - Influence of tectonic events on ENSO and monsoon, IGCP (国際地質対比計画)–476 の第 3 回国際シンポジウム 新生代におけるアジアの地質構造と気候の進展及びその東アジア縁辺海へのインパクト
 - Role of the Maritime Continent in a Coupled Atmosphere-Ocean-Land Surface Model, 2005 AGU Fall Meeting
 - Paleoclimate simulations by using the MRI CGCM, International Paleoclimate Modeling Intercomparison Project 2 (PMIP2) Workshop
 - 地球温暖化による海面淡水フラックスと海洋塩分の変化, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - 気候モデルによる完新世中期 (6 千年前) の気候再現実験, 日本気象学会 2005 年度春季大会 (筆頭以外の発表件数 1 件)
- 山内 洋
- Hybrid Multi-PRF 法の開発とそれを利用したドップラーレーダーの探知距離の拡大, 日本気象学会 2005 年度秋季大会

- ・ 2005 年 8 月 8 日つくばで突風と記録的強雨をもたらした雷雨, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 安田珠幾
- ・ Decadal variability of the sea surface height in the North Pacific, 2006 Ocean Sciences Meeting
 - ・ 大気海洋結合モデルによるエルニーニョ予測システムの開発—海洋鉛直粘性拡散係数の違いが予測に与える影響—, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・ 渦解像海洋大循環モデルで再現された北太平洋亜熱帯モード水, 2005 年度日本海洋学会秋季大会
(筆頭以外の発表件数 9 件)
- 柳野 健
- ・ 単一ドップラー新解析法によるデュアル未解析域への拡張, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・ 単一ドップラーレーダーによる風の場の詳細復元解析, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- 山崎 明
- ・ 海底地震計による「2004 年 9 月 5 日東海道沖の地震(Mj=7.4)」の余震観測, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 山崎信雄
- ・ Long-term trend of heavy precipitation in the East Asia and its connection with large-scale circulation, The 5th International Symposium on Asia Monsoon System
 - ・ 東アジアにおける強雨の長期変動と大規模場の変動との関連, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・ 日本の高層ゾンデデータを用いた JRA-25、ERA40、NCEP2 の検証, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
 - ・ 東アジアにおける短時間強雨の長期傾向, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 7 件)
- 山本哲也
- ・ 安達太良山の地磁気変化から推定される地下の熱水活動, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
 - ・ 霧島山御鉢および新燃岳における全磁力繰り返し観測, 日本火山学会 2005 年秋季大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)
- 行本誠史
- ・ 地球温暖化に伴う北極振動に似た構造の成因—成層圏と対流圏の寄与—, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)
- 吉崎正憲
- ・ Simulations for forecast and climate modes using a non-hydrostatic cloud-resolving model, Workshop on High Resolution Atmospheric Simulations and Cooperative Output Data Analysis
 - ・ Field observations for mesoscale disturbances and an application of cloud-resolving non-hydrostatic models to a climate mode, " The First International Symposium by the China, Korea and Japan Meteorological Societies
 - ・ Baiu frontal activity in the global warming climate simulated by a non-hydrostatic regional model with a horizontal grid of 5km, 2005 Joint Assembly AGU・NAB・SEG・SPD/AAS
 - ・ 大規模気象観測とメソ気象, 日本気象学会 2005 年秋季大会シンポジウム「大規模観測プロジェクトは気象学に何をもちたすか」

- ・雲活動の非断熱加熱分布に関する評価法—単純化された線型熱源応答問題, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- ・「メソ対流系」研究の到達点とこれから—全体報告, 日本気象学会 2005 年度春季大会
- ・専門分科会「メソ対流系」研究の到達点とこれから—全体報告, 日本気象学会 2005 年度春季大会
(筆頭以外の発表件数 7 件)

- 吉田康宏
- ・The rupture process of 2004 Sumatora-Andaman Earthquake viewed from the data obtained by the strainmeters of JMA, Memorial Conference on the 2004 Giant Earthquake and Tsunami in the Indian Ocean
 - ・気象庁の歪計から見た 2004 年スマトラ島沖地震の破壊過程, 日本地震学会 2005 年秋季大会
 - ・気象研究所におけるアクロス信号観測とその解析, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
 - ・広域地震観測網によるアクロス信号観測とその解析(その 4) 伝達関数の時間変化—, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
 - ・2004 年 11 月 29 日に起きた釧路沖地震の余震活動と震源過程, 地球惑星科学関連学会 2005 年合同大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)

- 吉村 純
- ・地球温暖化の科学についての話題, 「京都」以後の国債制度設計に関する研究会
 - ・地球温暖化によって台風やハリケーンは変化するのか?, フォーラム気候の危機 発足イベント・シンポジウム
 - ・地球が温暖化すると台風やハリケーンは強くなるのか?, 市民が進める温暖化防止 2005 シンポジウム
 - ・高分解能地球温暖化シミュレーションにおける台風の性質, 東京大学海洋研究所附属国際沿岸海洋研究センター利用研究集会「台風のライフサイクル」
 - ・超高分解能地球温暖化シミュレーションにおける台風の気候学的性質, 気候変動と気象水災害ワークショップ
(筆頭以外の発表件数 2 件)

- 吉村裕正
- ・単調なセミラグランジュ移流スキームの導入による成層圏の水蒸気量の改善, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 4 件)

- 和田章義
- ・2004 年の日本上陸台風 —台風強度維持と海面水温場の関係—, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・台風に対する海洋の応答—レビュー及び 2004 年台風シーズンにおける海洋応答—, 日本気象学会 2005 年度春季大会
 - ・非静力学モデルによる台風 0410 号の海洋混合層結合実験, 日本気象学会 2005 年度秋季大会
(筆頭以外の発表件数 1 件)